

飼養衛生管理マニュアル(例:小規模農家向け)

(1) 農場における防疫のための更衣

衣服・靴の着用

衣服・靴の脱衣



- ①手指の洗浄・消毒後、更衣室に入場する。
- ②外靴を脱ぐ。
- ③スノコの上で外服を脱ぎ、所定の場所に置く。
- ④専用衣服を着る。
- ⑤専用靴を履く。
- ⑥手袋をする。

- ①靴を脱ぎ、ブラシで洗浄後、消毒する。
- ②衣服を脱ぎ、洗濯用カゴに入れる。
- ③手袋を脱ぎ、ゴミ箱に捨てる。
- ④手指を洗浄後、アルコール消毒する。

(2) 物品の取扱い

<措置の内容>

- 他農場で使用した物品や海外で使用した衣服等は、持ち込まない。
- やむを得ず、持ち込む場合は煮沸消毒を行う。



煮沸消毒

対象: 被服、毛布、毛、器具、布製の飼料袋 等

- ①沸騰水中等で加熱する。
作用時間 80℃-5分
- ②水滴をタオルで拭き取る。
- ③自然乾燥させる。

(3) 野生動物の衛生管理区域内への侵入防止

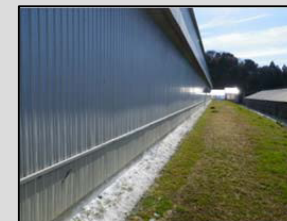
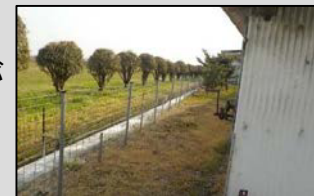
<措置の内容>

○給餌○時間後、通路にこぼれた餌を掃除する。

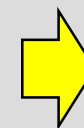
○毎週○曜日、防護柵・防鳥ネットの破損がないか、さらに野生動物の侵入がないか確認する。

○毎週○曜日、農場周囲を確認し、必要に応じ除草する。

○毎週○曜日、農場内を整理・整頓する。



飼料保管庫



○毎週○曜日、ネズミの侵入跡と粘着シートを確認し、ネズミの侵入状況をチェック表に記録する。

侵入跡には、粘着シートを設置し、殺鼠剤を撒く。



○死亡した家畜を発見した場合、異常の有無を確認し、野生動物が寄りつかないようにブルーシートで覆う。

(4) 手指、衣服、靴、車両、施設等の洗浄及び消毒に関する具体的な方法、消毒薬の種類、作用時間及び乾燥時間等

<措置の内容>

以下のとおり、消毒の対象物に応じた方法で消毒する。

靴の洗浄・消毒



長靴は念入りに洗浄する。



溝の汚れも落とす。



消毒槽に漬ける。

- 消毒場所: 畜舎出入口
- 消毒薬の種類: 逆性石けん
- 希釈倍率: 500倍
- 乾燥させる。
天日干し、一晩

手指の洗浄・消毒



手洗い用スプレーを吹きかけ、ペーパータオルで拭く。



手全体がシットリする程度消毒薬を吹きかける。



消毒薬を揉み込みように手のひら・甲・指の間・手首を消毒する。

- 消毒場所:
 - ① 衛生管理区域境界
 - ② 畜舎境界
- 消毒薬の種類: アルコール

衣服の洗浄・消毒



消毒薬に一晩浸漬する。



洗濯する

- 消毒場所: 畜舎出入口
- 消毒薬の種類: 逆性石けん
- 希釈倍率: 500倍
- 乾燥させる。
天日干し、一晩

車両の洗浄・消毒



車両のタイヤ周りを入念に消毒する。



フロアマットは交換、ペダルは消毒する。



ハンドル周りも消毒する。

- 消毒場所: 衛生管理区域境界
- 消毒薬の種類: 逆性石けん
- 希釈倍率: 500倍



外部業者には、ブーツカバーを着用させる。

【注意事項】消毒前に徹底的に汚物を除去する、十分量の薬液を用いて隅々まで浸透させる、消毒薬作成手順書及び作業日誌を設置し、記録する。